

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月31日

【評価実施概要】

事業所番号	3891500021		
法人名	医療法人 中野クリニック		
事業所名	グループ・ホーム アンダンテ		
所在地	東温市志津川1578番地1 (電話) 089-955-5771		
管理者	皆川 隆子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年9月8日	評価確定日	平成20年10月31日

【情報提供票より】 (平成20年8月25日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成18年10月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	15人, 非常勤 2人, 常勤換算 16.2人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	北側 50,000円 南側 60,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		
(3)利用者の概要 (平成20年8月25日現在)			
利用者人数	18名	男性 7名	女性 11名
要介護1	4名	要介護2	1名
要介護3	7名	要介護4	5名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 84歳	最低 78歳	最高 96歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

天井が高く窓も大きく、近代的な建物の事業所である。調査訪問時、きれいに掃除がなされていた。両ユニットの間にあるホールでは、交流できるようになっており、利用者の塗った絵を掲示されたり、カラオケや映画鑑賞を楽しんでいる。 運営推進会議時に、事業所の日常の食事の試食会を行い、出席者から意見をうかがったり、母体病院の院長や職員の代表で「食事委員会」を立ち上げ、栄養バランスやカロリーが確保できるよう取り組まれている。又、水分は少しずつこまめに摂取できるよう配慮し、夜間、トイレに起きた際にも声をかけるようにされている。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・この一年「事業所便り」の作成や市内の他事業所との交流に、特に力を入れて取り組まれた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価を全職員で取り組むことで、職員から自発的に「認知症のことをもっと知りたい」「身体拘束について深く勉強したい」等の意見が出される等、職員の研修に対する意識や意欲向上につながった。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議の回数を重ね、地域との関係も深まってきている。「アンダンテ便りを市や社協に置いてはどうか」という提案をいただき、実行されている。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ご家族の訪問は頻繁にあり、その都度、職員は、近況報告をされている。ご家族から要望もあり、「アンダンテ便り」に職員の名前を写真入りで載せるようにされている。事業所での預かり金は、買い物を行った際に随時、ご家族に報告するようになっている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・地域のボランティアの方が定期的にパステル絵の指導に来て下さったり、三味線の演奏を披露して下さっている。事業所で育てた野菜を近隣の方におすそ分けすることもある。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム・アンダンテ

(ユニット名) 東ウイング

記入者(管理者)

氏名 皆川 隆子

評価完了日

平成 20年 8月 26日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の方、お一人お一人が安心して穏やかに・充実した生活が実現するよう支援するために、3つの理念を掲げている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「優しい笑顔・安心、ゆとりのある生活・その人らしい生活」という事業所独自の3つの理念を掲げておられる。</p>		事業所では、今後、地域密着型サービス事業所として、地域の中でどのように取り組んでいくか、という目標を立てたいと考えておられた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>事務所や玄関など、常に目に入る場所に提示し理念を共有し、毎朝の申し送りや職員会議などを利用し、共通理解や具体的な支援の方法を話し合い、実践力の向上に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員で話し合い、今年は「優しい笑顔」で取り組めるよう、特に力を入れていきたいと考えておられる。</p>		理念が浸透しているか、色々な場面から見直し、改善していきたい。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>訪問者の方が見やすいように、玄関に理念を掲げている。来所の際にきめ細やか話し合い、相談に努めている。「アンダンテだより」を家族や地域に配布し、当ホームの理解を図ってもらうとともに、交流の推進に努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 月1回の生け花クラブに、地域の方に参加して頂いたり、ゴミ出しや散歩中に近所の方にお会いした時は挨拶をしている。		職員が進んで近隣の人々と交流し、信頼関係を築いていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地方祭では、神輿に入ってもらい200名余りの地域の方が集まり、利用者と共に楽しんだ。		運営推進会議を活用し、情報収集に努め、更に交流の活性化に努めたい。
			(外部評価) 地域のボランティアの方が、定期的にパステル絵の指導に来て下さったり、三味線の演奏を披露して下さい。事業所で育てた野菜を近隣の方におすそ分けすることもある。		今後、事業所では、地域行事への参加を積極的に行い、奉仕作業等にも参加し、地域との関係を深めていきたいと考えておられる。又、事業所、両ユニット間にあるホールを開放することも検討されていた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等で情報交換を行い、グループホームとして役立つ事はないか取り組んでいきたい。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価や外部評価を実施することにより、事業所内での課題や改善点が明確になり、今後の質の向上や改善につなげていきたい。		外部評価の結果を職員に周知させ、実践の改善に取り組むこととしている。
			(外部評価) 自己評価を全職員で取り組むことで、職員から自発的に「認知症のことをもっと知りたい」「身体拘束について深く勉強したい」等の意見が出される等、職員の研修に対する意識や意欲向上につながった。この一年「事業所便り」の作成や市内の他事業所との交流に、特に力を入れて取り組まれた。		サービス評価に取り組む際に、事業所自身で気付かれたことは、改善への取り組みの起点でもある。今後も評価結果等を活かし、事業所のケアの質向上に取り組まれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			2ヶ月に1回運営推進会議を行い、取り組みと現状を説明するとともに、意見交換や情報収集しサービスの向上に努めている。		
			(外部評価)		
			会議の回数を重ね、地域との関係も深まってきている。「アンダンテ便りを市や社協に置いてはどうか」という提案をいただき、実行されている。		今後、会議時に外部評価の結果等も報告し、ケアについて等、意見をいただきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			月1回の介護相談員さんの訪問や、運営推進会議や「アンダンテだより」の発行を活用し、ホームの取り組みを伝え、情報交換を行い、質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、介護相談員の訪問があり、利用者の方とお話をされていた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			外部研修などに参加し、学ぶ機会を持ち、制度について理解できるようにしたい。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			日頃のケアの内容を十分に把握し、問題点を職員会議・ウイング会を利用し防止に努めている。一人一人の人格尊重を第一義に誠心誠意介助に努めるよう常時気をつけている。毎月のウイング会で一人一人の願いに寄り添った介護について話し合うとともに、職員会で研修を深め、防止の徹底に努めている。		更に職員の人権意識を高め、今後も常に危機感を持って防止に努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約説明時、分かりやすくお伝えし、ご家族の疑問にも答え、十分理解し納得して頂いた上で契約を結んでいる。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の方とは、日々のかかわりの中で思いや意見を聞き改善に生かしている。またご家族からも利用者の意見・不満等の情報把握に努め、可能な限り即改善に取り組む姿勢で日々対応し、また、職員にも周知徹底を行っている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ご家族の定期的な面会があり、ご本人の健康状態や日々の生活・食事のことなど、多様な側面から近況報告を行っている。		一人一人に丁寧にかかわり、一人一人について深く理解したことを、詳しく家族に伝えていきたい。
			(外部評価) ご家族の訪問は頻繁にあり、その都度、職員は、近況報告をされている。ご家族から要望もあり、「アンダンテ便り」に職員の名前を写真入りで載せるようにされている。事業所での預かり金は、買い物を行った際に随時、ご家族に報告するようになっている。		さらに、事業所での食事支援や入浴支援・外出支援等、ご家族が知りたい情報を探り、定期的に知ることができるような仕組み作り等を、工夫されてはどうだろうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日頃より家族等との交流の促進、人間関係の構築に努め、意見を出しやすい環境作りに力を入れている。運営推進会議に参加して頂いたり、又ご家族の来訪時に意見を生かし運営の改善に努めている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時や運営推進会議、又、電話等で意見を出していただけるよう働きかけておられる。		さらに、「お世話になっているので言いにくい」というようなご家族の心情も踏まえて、ご家族が意見を出しやすいような体制や雰囲気作りの工夫が期待される。又、事業所にご家族が訪れやすい雰囲気作りや、具体的にご意見をいただけるような働きかけ等についても、工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回、西と東でウイング会を設け意見の交換をし、職員一人一人の意識深化と運営への主体的参加を図っている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に合わせて職員間で話し合い、調整を行っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ウイング会・職員会、日々の申し送りなどにより、一人一人の利用者支援について理解を深めている。また、適宜東と西の職員の異動・交流を実施し、どの職員も一人一人について深い理解と支援が図れるように努めている。		
			(外部評価) 日頃から職員・利用者ともに、ユニット間で行き来きされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 月1回のウイング会や職員会議でテーマを想定し、まずグループでの話し合い、次に全員での話し合いをして、研修の深化に努めている。また、院長(運営者)や管理者による指導・助言の時間を確保して、研修の充実を図り、実践力の向上に力を入れている。		今後は外部研修への参加を積極的に行っていきたい。
			(外部評価) 新しい職員は、先輩職員に付いて習うようにされている。事業所内では、「利用者の思いに添う支援」等、資質向上に向けて勉強を行っておられる。		職員個々のさらなるスキルアップから、事業所のケアの質の向上を目指していかれることが期待される。さらに、ご家族に向けて事業所で行っている「職員を育てる取り組み」について報告されたり、時には、ご家族から「職員の利用者への対応」について、ご意見をいただく機会等も作ってはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			地域で行っている月1回のケアネット会議に参加し、同業者の方々との交流を深め、情報交換を行っている。		
			(外部評価)		
			管理者・計画作成担当者は、地域のケアネット会議に参加し、他事業所と交流されている。		今後もネットワークを広げ、他事業所との交流や意見交換を通じて、事業所のさらなるケアの質向上につなげていかれてほしい。又、職員の離職を抑えられるような取り組みの工夫を重ねていかれてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			希望休を取り入れたり、食事会を行ったりし交流や親睦を深められるようにしている。コミュニケーションを大切にして職員間の親和に努めている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			運営者は月に1回の職員会議に出席して指導・助言を積極的に行い理念の浸透、職員の理解に努めている。毎週木曜日には昼食をホールで摂っており、職員の意見を聞く機会作りに努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前面接の機会を持ち、本人の希望や思いを聞き取り、安心してホームで生活が出来るようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 見学や面会の機会を持ち、家族の思い・ホームに対する要望などを聞き、信頼関係の構築に努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、本人と家族の思いや要望・状況等を詳細に把握し、一人一人に合ったサービスの提供ができるように努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事前に面接を行って情報把握に努めるとともに、本人や家族に見学に来ていただき、ホームの雰囲気などを感じてもらえるよう丁寧にかかわっている。 (外部評価) 入居前、職員は、利用者を訪ね、ご本人やご家族、ケアマネージャー等から情報収集をされている。又、入居間もない頃に職員は、ご本人と接する時間を多く作るよう心がけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の人権を尊重するとともに、人生の先輩として日常生活の中で利用者の方々から学ばせて頂いているという気持ちを忘れず、お互いが支え合い、ともに喜びや悲しみを分かち合える関係作りに努めている。 (外部評価) 職員は、利用者から野菜の蒔く時期を教わったり、時代劇や戦争時のTV番組を一緒に見ながら、歴史や戦争体験についてお話を聞かせてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族との対話に努め信頼関係を築き、日常生活の情報を共有し、本人が安心して生活出来るよう支援している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時など、本人の日々の生活状況や日頃の様子を報告し、より良い支援について話し合うよう努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 昔からの友人や知人が気軽に遊びに来られる雰囲気を作り、色々な方が気軽に面会に来ている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 個別に話を聞いたり、相談にのったりしている。食事やお茶の時間には、職員が仲介者となり、相互のコミュニケーションの活性化を図り、楽しい時間が過ごせるようにしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービスの利用が終了した方にも、家族が地域住民の1人として、運営推進会議に参加してもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 日々の会話やかかわりの中で、本人の希望や意向を確認している。家族にも協力して頂き、情報を得るようにしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>職員は、特に、昼食後のゆったりした時間帯や入浴時等、ご本人の思いや意向をお聞きすることが多い。</p>		<p>ご本人主体の支援を行うためにも、ご本人の思いや暮らしの希望をさらに探っていかれてほしい。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 事前面接やケアマネや家族などから情報を頂き把握に努め、一人一人が生き生きと生活できるよう手立てを工夫している。</p>		<p>利用後も、面会時などに本人の生活背景や生活歴等、話を聞く機会を持つようにしている。</p>
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 多様なかかわりを通して、一人一人の得意なことや興味等把握し、充実した時間が過ごせるよう工夫している。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 利用者の希望や思いを大切にし、安心した穏やかに生活できるように本人や家族の意見を聞き、介護計画の作成に努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>「野菜作りをしたい」等のご本人の希望等を踏まえ、医師の意見も採り入れながら介護計画を作成されている。</p>		<p>介護計画を作成する際、ご家族の意向等も踏まえ、相談しながら作成するような取り組みもすすめていかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月のウイング会を利用し定期的見直しと、状態の変化時など、随時見直しを行い、新たな計画を作成している。		介護計画を確実に実行する為に、チェックシートを作成している。
			(外部評価)		
			6ヶ月毎の定期的な見直しと、状態変化時に随時見直しを行うようになっている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			毎日個別に日常生活の様子や本人の言葉・行動の様子などを記録に残し、いつでも職員が確認できるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			緊急時や状態の変化にともない、治療が必要な時は母体の病院や看護師と連携をとり対応している。		看護師のかかわる時間を増やし、利用者の心身の状況についての把握や処置が進められ、健康の保持に成果を上げている。
			(外部評価)		
			理美容院への送迎や、時に、ご自宅に様子を見に帰ることも支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎月、介護相談員の訪問があったり、地域の方のボランティアで生け花・パステル画と、地域の方々の力を借りながら支援している。		地域の小学校の総合学習（福祉教育）での交流・保育園児との交流を実施し、双方向的に成果を上げている。今後も継続したい。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望に応じて、訪問理美容サービスを利用している。		今後も利用者のニーズを把握し、活用支援を広げたい。
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員の方にも参加して頂き、情報交換を行っている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体病院が主治医になっているが、以前からのかかりつけ医に受診する方もおられる。その場合は、職員も送迎を行い家族も同行される。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(外部評価) 以前からのかかりつけ医を受診できるようになっている。その場合、母体病院院長の医療ネットワークで連携を取っておられる。		ご本人の体調や状態のことは、ご家族も心配なことであり、病院受診時の結果等についても、さらに詳しい報告がほしいご家族もいるのではないだろうか。
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 毎週木曜日に主治医の往診がある。また、状態の変化がある場合は随時連絡と報告を行い、指示や助言を頂いている。		運営者が専門医であるため、一人一人に応じた診断や治療ができることは大変心強い。小さな変化も見逃さず、適切な診断や治療が受けられるよう配慮している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携シートを活用し、情報交換を行いながら指示や助言を貰い、利用者の健康管理に努めている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院の医師や看護師と連絡を密にし、退院後の受け入れ体制を整えている。		運営者が病院長のため、本市の医療機関との連携体制が緊密にできている。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期を迎えるにあたり、医師や看護師と連携をとり、対応について申し送りで職員に周知徹底している。 (外部評価) 入居時には、看取りの指針について説明をされている。さらに、食事や水分が摂取し辛くなった状態時、医師・ご家族等と今後の方針を話し合うようにされている。		重度化した場合や終末期のあり方については、ご本人ご家族も不安な点でもあり、時に、話し合うような機会を作ってはどうだろうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 利用者の状態に応じて家族の意見を聞き、医師や看護師と相談しながら、ホームで出来る事を行っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 事前にケア関係者との情報交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者の個人情報を書庫で保管し、取り扱いには十分注意を払っている。利用者に対する言葉遣いにも配慮し、きちんとした対応ができるよう職員会議等で共通理解を図っている。 (外部評価) 職員は、利用者の行動を止めることなく対応されていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望や思いを大切にし、自己決定できるように言葉かけやかかわりを持つように支援している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者一人一人のペースを大切にし、個別ケアを大切にすることを支援している。 (外部評価) 食事の下膳等、職員のペースで進めておられる場面も見受けられた。		利用者9人それぞれに違う個性を持っていること、思いや願いについて把握したり情報を共有し、希望に沿った支援に今後も力を入れたい。 利用者一人ひとりの暮らし方の希望等をさらに探り、個々のペースに応じた職員のかかわり方を模索していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		(自己評価) 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人が希望する理容店に出かけたり、出張サービスの散髪を利用している方もいる。		
54	22	(自己評価) 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方には、野菜を切ってもらったり、盛り付け・配膳のお手伝いをしてもらっている。 (外部評価) 調査訪問時の食事時には、菜園で収穫された野菜のお話が弾み、和やかな雰囲気であった。誕生日にはご本人が食べたいものをリクエストしてお祝いされている。		さらに、ご家族も利用者とともに食事をする機会を作る等、食事の内容や量、希望等について具体的に意見を出せるような機会を作ってはどうか。
55		(自己評価) 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人一人の嗜好品の把握に努め、おやつに出したり、家族に届けてもらったりしている。		
56		(自己評価) 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレでの排泄を促がし、羞恥心を傷つけないよう対応し、排泄チェック表を基に一人一人の排泄パターンを把握するよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			毎日入浴したい方はされ、介助の必要な方は最低週3回の入浴を実施している。		
			(外部評価)		
			入浴を喜ばれる方が多く、ご自分の力で浴槽に入りやすいように踏み台等を置いておられた。		さらに、利用者の中には入浴時の支援について、同性介助を望まれる方もいるのではないだろうか。ご本人の入浴についての希望をさらに探ってみてはどうだろうか。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			その日の一人一人の状況や体調の把握に努め、安心して休めるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			毎日の10時と15時の体操の時間を持つことで、メリハリのある生活を送れるようにしている。また、カラオケをしたり散歩をしたりと、楽しみを見つけることができるよう心がけている。		
			(外部評価)		
			食器拭きをされたり、菜園で野菜を作り、皆さんに食べていただくのを楽しみにされている方もおられる。毎朝、自室の仏壇にご飯とお茶をお供えされている利用者もいる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自己管理が出来る方はお金を持ち、必要に応じて使われる事もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	事業所の畑の手入れや収穫作業、草木の水遣りをされる方もいる。散歩に出かけたり、外のベンチに座りくつろいだりされる方もいる。	
			朝夕の涼しい時間に、事業所の周りの散歩をすることもある。事業所の花木に水遣り等をされる方もいる。		事業所では、外出については「車での外出について」の調査等も行い、積極的に取り組もうとされている。さらに、日常的にも出かけるような機会を増やし、利用者の生活を広げていかれることが期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	ご家族の方とドライブや外食に行かれる方もおられ、外に出かける機会も増やしていきたい。	
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	電話をかけられる方は電話で話したり、葉書や手紙を書かれる方もおられる。	
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			(外部評価)	家族の面会も多くあり、誰が来られても落ち着いて過ごせるよう、オープンスペースを有効に活用している。また、日頃から対応の仕方や挨拶に気をつけている。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者一人一人の状況をしっかり把握し、困難な問題にはウイング会・職員会で話し合い、全職員が共通認識を持つように取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は自動ドアになっており、鍵をかけない。そのため利用者の動静については、常に注意している。 (外部評価) 日中は、玄関に鍵をかけず、職員は見守りをされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者のプライバシーと尊厳を重視し、小まめな見守りと所在確認を行い、安全に配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 個々の物品に対する認知を行い、保管や管理を行なっている。危険な物品については、点検や厳重注意をしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) あらゆる状態において危険を予測し、予防できることは事前に対応している。誤薬については、服薬確認表を作成し、三重にチェックを行っている。		事故防止については他所の事例に学び、機会あるごとに研修をして、一人一人の危機管理意識を高めることに取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 事前に予測できる状況や対応策について、医師や看護師と連携を取り、早めの対応を心がけ急変時に備えている。		AED操作方法や応急手当など、今後の研修として取り組みたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 火災訓練は年に2回、昼間と夜間を想定して避難訓練を行なっている。 (外部評価) 居室入り口にかけておられるネームプレートの裏側には、「確認済み」と記されており、いざという時、利用者が避難できたかを素早く確認できるよう工夫されていた。		色々な場合を想定した避難訓練を実施し、利用者の命と安全を守る事に力を入れたい。 9月には地震を想定しての訓練を行なう予定である。 さらに、いざという時、地域の方々の協力が得られるよう、運営推進会議等で働きかけをされていかれてはどうだろう。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 日頃から利用者の状況などを面会時に家族に報告し、起こり得るリスクについても説明し、協力を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 常日頃から利用者の顔色・表情・行動等を観察し、いつもと様子が違う場合は職員間で情報を共有し、必要であれば医師に連絡をしている。		母体の病院長(運営者)に報告し、適切な処置ができている。午前中は看護師が滞在し、体調について観察・処置等をしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は は取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 必ず処方箋に目を通し理解したうえで、服薬管理に努めている。変更があった場合は申し送りノートに記入し、職員間で漏れがないようにしている。		間違いなく適切に服薬できるよう、ウイング会のたびに職員の意識化を促がしている。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 出来る限り薬に頼らず、水分補給や食物繊維の多い食事内容を取り入れたり、体を動かす工夫を行なっている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを実施し、一人でできる方も最後に確認を行い、清潔保持に努めている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養のバランスを考え献立を作り、食事量のチェック表を記入する事で、一人一人の摂取量を把握している。一人一人にあった食事の形態も工夫している。 (外部評価) 運営推進会議時に事業所の日常の食事の試食会を行い、出席者から意見をうかがったり、母体病院の院長や職員の代表で「食事委員会」を立ち上げ、栄養バランスやカロリーが確保できるよう取り組まれている。又、水分は少しずつこまめに摂取できるよう配慮し、夜間、トイレに起きた際にも声をかけるようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作成し職員全員で学習し、予防・対策に努めている。医師や看護師からも、助言や指導を頂いている。		感染症の流行等の情報把握にも努め、感染の防止に配慮したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その日の終わりにハイターなどで用具を消毒・乾燥し、衛生管理を行なっている。食材などは賞味期限のチェックを小まめに行い、食材管理を行なっている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>明るく家庭的な環境作りに心がけ、安心して気軽に出入りしやすいように花壇やベンチ等を置いている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>広々とした生活空間の中に、観葉植物や絵画を飾り、居心地のよい環境を整えている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>天井が高く窓も大きく、近代的な建物の事業所である。調査訪問時、きれいに掃除がなされていた。両ユニットの間にあるホールでは、交流できるようになっており、利用者の塗った絵を掲示されたり、カラオケや映画鑑賞を楽しまれている。</p>		<p>有名デザイナーの設計による施設は、明るく広々としている。今後更に利用者とともに生活感や季節感のある環境を工夫していきたい。</p> <p>さらに、利用者の住み心地のよい環境作りに向けて、利用者ご本人、ご家族の意見等もお聞きしながら取り組まれてほしい。さらに、日々の掃除等も利用者とともに行えるよう、取り組まれてはどうだろうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>西ウイングと東ウイングを自由に行き来する事ができ、自分の好きな場所でゆっくりとくつろげる場所がある。</p>		<p>利用者に共用空間を使った楽しい活動を工夫していきたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			備え付けのベッドや整理棚が設置されているが、使い慣れた物を居室に取り入れ、自分だけの空間を大切にしている。		
			(外部評価)		
			愛読書・雑誌、洋服、冷蔵庫、テーブル、仏壇等が持ち込まれていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			毎朝必ず空気の入れ替えを行い、湿度計・温度計を設置し、空調管理の目安にしている。日中を通して小まめに換気を行なっている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			建物内部はほとんど段差がなく、床は低反発性の素材を使用している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			職員は利用者一人一人の残存機能を生かし、出来ること・出来ないことを見極め、過剰な介護にならないよう気をつけている。		一人一人に丁寧にかかわり、できる限り思いに寄り添い、自己実現感を持たせることで、自立化を支援している。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			食堂から外に出やすい建物の構造のため、夏には花火を楽しんだり、散歩に出てベンチで休んだり、庭の草を引いたり、日光浴を楽しまれたりしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	普段から利用者の思いや願いを聞いたり、家族の意向を聞きケアプランに反映させている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日利用者とかかわる事を大切に、ゆっくりお茶を飲んだり会話をしたり、一緒に過ごす時間を持っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者一人一人の状況を把握し、その方のペースに合った生活援助を行なっている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	畑の世話や水遣り・料理など、自分の役割を持ち生活する中で生きがいを感じている。一人一人の理解に努め、生き生きと行動できるよう支援している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩や買い物に出かけたり、家族と外食に行かれたりしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々利用者の健康維持に努め、何か変化があれば医師や看護師と連携を取り支援している。運営者は医師であり、隣接している為安全・健康面で成果を上げている。看護師も日常的にかかわる時間が増えている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人一人の状況をしっかり把握する事に努め、その方が何を望んでいるのか・求めているのかを職員で考え対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に日々の利用者の状況を報告し、家族の方から色々な思いや要望を聞き、支援につなげている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	昔からの友人や知人が面会に来られたり、近所の方が野菜を届けて下さることもある。地域の方がボランティアでバステル画・生け花等を利用者と一緒を楽しんでいる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ① 大いに増えている ② ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない	運営推進会議で情報交換を行い、地域の行事について情報を得たりしている。アンダンテだよりの発行により、具体的に事業所内の内容を理解して頂いている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ① ほぼ全ての職員が ② ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない	職員一人一人がチームワークを大切にし、笑顔を忘れず自分の仕事に責任と誇りを持ち働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	利用者とのかかわりを持ち、共に生活する大切さを忘れず、笑顔で楽しい時間が過ごせるよう援助している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ほぼ全ての家族等が ② ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどできていない	常に利用者の状況把握に努め、面会時などに家族に報告を行い信頼関係を深めている。利用者のためにと様々な要望が多いが、できる限りは実現に努めている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

一人一人の人権を尊重し、一瞬一瞬が生き生きと楽しい一日が実現できるよう力を入れている。
 利用者の家族の思いを大切に受け止め、安心して穏やかな生活が送れるよう支援したい。
 畑の手入れや野菜の収穫をし、役割や生きがいのある時間を大切にしている。
 毎日10時と15時の体操の時間を利用し、両ウイングの交流の時間を持つことで、顔なじみの関係を大切にしている。
 情報交換や研修を強化し、適切な介護の在り方について職員の認識と介護の力の向上に努めている。